

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）：総合科学研究科 農学専攻

農学専攻は、植物生命科学コース、応用生物化学コース、動物科学コースから成り、専攻の学位授与の方針に対応して、研究科共通科目に加えて、専攻共通科目及び各コース独自のコース科目を配置し、教育課程を編成している。

学生が必要とする基本的、専門的な能力を身につけさせるために、専攻共通科目及びコース科目はいずれのコースにおいても高度専門教育重点科目群と研究教育重点科目群を配置している。

（情報分析力・語学力・コミュニケーション力等の汎用的能力）

1. 農学・生命科学分野で必要とされる情報分析、語学、及びコミュニケーション等の能力を身につけさせるため、研究科共通科目の「アカデミック英語」及び専攻共通科目の「研究デザイン演習」を配置している。

（研究成果の発表等）

2. 学生が見出した研究テーマについて研究指導する「特別研究」を必修で課している。研究成果の発信能力を目的とする専攻共通科目の「研究プレゼンテーション演習」を配置している。「アカデミック英語」では英語による研究発表能力の獲得を目標としている。

（社会への貢献）

3. 専攻共通科目として「次世代農学特論」、「インターンシップ」を配置し、農学の先端的理論や技術に加え、農業経済・経営について学び、実践経験を積むことにより社会貢献の重要性を認識させている。

各コース独自の教育課程の編成は、以下のようになっている。

植物生命科学コース

（専門分野の基礎的な知識）

1. 植物・生命科学分野における作物、園芸、植物育種、植物生理、植物病理、応用昆虫の各研究分野において必要な基礎知識を身につけさせるために、「研究教育重点科目群」を配置している。

（専門分野の応用的な知識）

2. 植物・生命科学分野と生物資源科学の関連分野での応用的な知識を身につけさせるために、複合的で広範囲な高度専門領域に関する科目として「高度専門教育重点科目群」を配置している。

（専門性に基づいた問題解決能力）

3. 上記の知識と理解に基づき、高度専門技術者あるいは研究者として植物・生命科学分野における未知の課題を見出し、かつ、それを解決する能力を身につけさせるために、「植物生命科学特別講義」を配置し、また修士論文執筆と研究成果の発表を内容とする「植物生命科学特別研究」を課している。

応用生物化学コース

(専門分野の基礎的な知識)

1. 応用生物化学コースで必要とされる専門分野の基礎的な知識を身につけさせるために、生化学・酵素化学系の科目、栄養・食品科学系の科目、生物圏科学系の科目を提供している。

(専門分野の応用的な知識)

2. 専門分野での応用的な知識を身につけさせるために、複合的で広範囲な高度専門領域に関する科目を配置している。

(専門性に基ついた問題解決能力)

3. 修得した知識・能力を基礎に、専門性に基ついた問題解決能力をつけて社会貢献できるようになるために、「応用生物化学特別講義」を配置し、また修士論文執筆と研究成果の発表を内容とする「応用生物化学特別研究」を課している。

動物科学コース

(専門分野の基礎的な知識)

1. 動物科学分野の基礎的な知識を獲得させるため、学部教育を深化させた「研究教育重点科目群」を配置している。

(専門分野の応用的な知識)

2. 専門分野について、より幅広く、且つ、深く学ぶために、応用面を考慮した「高度専門教育重点科目群」を配置している。

(専門性に基ついた問題解決能力)

3. 修得した様々な知識・技能を用いて動物科学分野の社会的問題を解決するために、「動物科学特別講義」を置くことで、より多角的問題意識の高揚を図るとともに、「動物科学特別研究」を課すことで、全学生がそれぞれのテーマに沿った研究に取り組み、その成果の発表と修士論文を執筆する。